

美しさとデザイン

歴史、未来、多様性

美しいもの、使いやすいもの、便利なもの、心惹かれるもの、懐かしいもの、自然のもの、技巧をこらされたもの……。私たちの周りには、さまざまなデザインがあります。美しいものもあふれています。何気なく使っているものも、職人さんが丹念に作ったものから、感性哲学、情報学や材料工学を駆使して最適化されたものまで色々ですよね。

今回は、デザイン学、バーチャルリアリティとロボティクス、さらには造形芸術学という、違うようで何か化学反応が起きそうな方々に話題提供をいただき、参加者も一緒におしゃべりします。新たな取り組みや考え方、新しい価値の創造や協働など、未来に向けたトークや繋がりにも期待します。くだけた会です。お気軽にご参加ください。

2021.2.3. (Wed) 16:30-18:00 (Zoom)

ゲストから話題提供+自由な対話

参加対象：研究者、大学院生（どんな分野からも歓迎）

事前登録はURLまたはQRコードから：<https://bit.ly/3n5xtaQ>



八木 健太郎 准教授（話題提供）

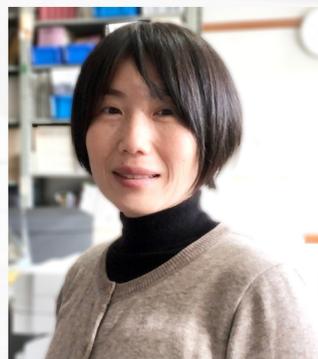
専門：デザイン学

美術とデザインの境界領域で、美しい価値を次の世代へと引き継いでいくための活動を行う。昇降時の負担を軽減する階段でグッドデザイン賞。東広島イノベーションラボ ミライノ+の空間のデザインも担当。



桑島 秀樹 教授（司会）

専門：美学芸術学、感性哲学、文化創造論
崇高理論の歴史、アイルランド／ケルトの芸術文化論、大地／聖地／故郷の風景美学を探究。主著に『崇高の美学』（2008）、『生と死のケルト美学』（2016、第14回木村重信民族芸術学会賞）、『司馬遼太郎 旅する感性』（2020）など。新東広島市立美術館（2020オープン）協議会委員（会長）。



多田 羅 多起子 准教授（話題提供）

専門：造形芸術学

広島大学で造形芸術学、京都工芸繊維大学で日本美術史を学んだ後、文化財修理の現場で学芸業務に携わる。授業では、時代や文化の違いから生まれる多様な造形表現の特質や、芸術作品に対する感覚なども扱う。



栗田 雄一 教授（話題提供）

専門：バーチャルリアリティ、ロボティクス
人の運動と感覚機能の理解、ならびに人間拡張、ヒューマンインタフェース、運動アシストデザインを研究。広島大学脳・こころ・感性科学研究センター（BMKセンター）人間拡張学部門長／超人スポーツ協会理事。